



KUMAMOTO

在时代中熠熠生辉

熊本历史长河中诞生的独特文化

发行：熊本县 文化企划及世界遗产推进科

邮编 862-8570 日本熊本县中央区水前寺6丁目18番1号

発行：熊本県 文化企画・世界遺産推進課

〒862-8570 熊本县中央区水前寺6丁目18番1号

TEL 096(333)2154 FAX 096(381)9829

e-mail bunkasekai@pref.kumamoto.lg.jp





誇りと宝

引以为豪的瑰宝

这是熊本城饭田丸五阶櫓的照片，在2016年熊本地震中，大部分石垣都被损毁。

仅凭块状石头支撑城堡的建造技术被称为“一本石垣”，备受瞩目，自然不倒的姿态彰显400年前石垣的建造技术水平之高。

这个櫓的修复俨然成为从地震中崛起的象征，为当地民众带来了心灵上的感动。

在修复工程中，传统技术发挥出了不可或缺的重要作用，如木造建筑技术、美术工艺、辅助道具的制作以及材料等。

这个小册子为您介绍熊本县流传至今的历史及文化等遗产。

本册子全面解码熊本引以为豪的瑰宝，它们是在人们的智慧积累下诞生的技术，或是职人们一件件炉火纯青的手工艺，亦或是经历岁月洗礼而形成的美好姿态，均是在当地民众的日常生活、风俗习惯、传统文化中诞生，其中饱含了现代人传承这些瑰宝时的满腔情怀。

欢迎您来熊本时踏访，期待给您带去美的享受与启迪。



これは2016年の熊本地震で石垣の大部分が崩壊した熊本城の飯田丸五階櫓の写真です。

角石のみで支える「一本石垣」として注目を浴びたこの姿は、400年前の石垣築造技術がいかに素晴らしいものであったのかを伝えています。この櫓の復元は、地震からの復興のシンボルとしてこの地で生きる人々の心に感動を呼びました。復元工事には、木造建築技術や美術工芸、それらを支える道具づくりや材料などの伝統技術が欠かせません。

この一冊は、熊本県の今に伝わる歴史や文化などの遺産を紹介するものです。この冊子で、紹介するものはすべて、この地で生きてきた人々の生活や習慣、伝統を背景に、知恵を重ねることによって生まれた技術や、職人たちの洗練された手しごとの数々、長い年月を経て削り出してきた美しい姿を継承する人々の思いがたくさん詰まった熊本の誇りと宝です。

熊本にお越の際、足を運んで楽しんでいただけると光榮です。

文化

P3-P8

加藤家と細川家
加藤家と細川家

水前寺成趣園
水前寺成趣園

本妙寺
本妙寺

熊本県立美術館 本館
熊本県立美術館(本館)

獅子舞
獅子舞

流鏝馬
流鏝馬(やぶさめ)

肥后六花
肥後六花

肥后古流茶道
肥後古流茶道

能楽
能楽

神楽
神楽

文化

工艺

P9-P12

山鹿灯笼
山鹿灯笼

小代焼
小代焼(しょうだいやき)

肥后象嵌
肥後象嵌(ひごそうがん)

天草陶磁器
天草陶磁器

工艺

乡土玩具

P13

郷土玩具

日本遗产

日本遺産

P14-P16

人吉球磨
人吉球磨

八代
八代

菊池川流域
菊池川流域

世界遗产

世界遺産

P17-P20

天草崎津集落
天草の崎津集落

三池煤矿万田坑・専用鉄道遗址
三池炭鉱万田坑・専用鉄道敷跡

三角西港
三角西港

阿苏

力争入选世界文化遗产名录

P21-P22

阿蘇 世界文化遺産登録を目指して

土特产

お土産

P23

观光咨询所

観光案内所

P24

地图

地図

P25 熊本广域地图

熊本広域マップ

P26 熊本市内地图

熊本市内マップ



熊本的文化

受丰沛水源和雄伟大自然的恩泽，从太古时期起就有人类生活在这片土地上。随着时光流逝，以神乐（向神祈祷无病息灾和作物丰收等的歌舞）为首的众多传统文化逐渐扎根县内各地。此外，武家文化众多也是此地的一大特色。

距今约400年前，加藤清正修筑熊本城，其后细川家成为藩主。他们酝酿出了武家文化，当时受武家喜爱并继承发扬的代表性文化要数肥后六花、肥后古流茶道、流镝马和能乐。这些文化中蕴含着高雅的美感和虔诚的待客之心等，强烈体现了日本独有的审美意识和精神韵味。

定会有缘来此的游客带来特别的体验与发现。

熊本の文化

豊かな水と雄大な自然に恵まれたことで、この地には太古の昔に人びとの暮らしが生まれました。やがて、神楽(無病息災や豊作などを神に祈る歌舞)をはじめ、数多くの伝統的な文化が県内各地に根付きはじめます。また、武家が親しんだ文化が多いのもこの地の特色のひとつです。

今から約400年前に熊本城を築城した加藤清正や、その後に藩主となる細川家といった当時の武家によって嗜まれ、継承された文化は、肥後六花や肥後古流茶道、流镝馬、能楽に代表されます。これらの文化には品格のある美しさや客人をもてなす心など、日本ならではの美意識や精神が強く反映されています。

旅人であるあなたにもきっと特別な体験と発見を与えてくれるでしょう。

時代を超えて愛される藩主たち

超越时代，深受爱戴的藩主们

加藤清正

加藤清正（1562年-1611年），不仅修建熊本城，还积极治水，排水开垦，鼓励贸易，为当时的熊本农业及商业的发展留下了丰功伟绩。清正可以说是奠定现代熊本基石的伟大人物，永远深受熊本民众的爱戴。



加藤清正

熊本博物館 所蔵

加藤清正(1562年-1611年)は熊本城の築城をはじめ、治水工事や干拓といった当時の熊本の農業の発展、貿易による商業の発展にも大きな功績を残しました。現在の熊本の基礎を築いたと言える清正は今も熊本の人々に愛され続けています。

细川忠利

细川忠利（1586年-1641年）是继加藤家之后统一熊本的人物，在普及肥后古流茶道等方面，对熊本文化产生了一定的影响。此外，细川还兼具武道才华，正是他邀请了日本最著名的剑术家“宫本武藏”晚年在熊本度过。



细川忠利

公益財団法人 永青文庫 所蔵

細川忠利(1586年-1641年)は加藤家の後に熊本を治めた人物です。肥後古流茶道を根付かせるなど熊本の文化に影響を与えました。また武道の才能も併せ持ち、日本でもっとも有名な剣術家「宮本武藏」が晩年を熊本で過ごすきっかけを作ったとも言える人物です。



肥后六花

肥后六花指的是肥后茶花、肥后芍药、肥后花菖蒲、肥后牵牛花、肥后菊、肥后茶梅这六种花的总称。

据说起先是武士把这些花作为情趣爱好和精神修养的对象。这些花的共同特点是绽放时花瓣互不重叠，花芯优美，色泽雅致，是武士名副其实的引以为傲的象征。

肥后六花均有各自的保护团体，其花种和花苗绝不泄露给外界，得以绝密地世代相传了下来。

肥后六花

肥后六花は肥後椿、肥後芍薬、肥後花菖蒲、肥後朝顔、肥後菊、肥後山茶花の六種の花の総称です。

武士のたしなみや精神修養として始まったと言われ、一重咲きであること、花芯の美しさ、清らかな色を共通点とし、まさに武士の誇りを象徴するような花なのです。肥後六花にはそれぞれ保存団体が存在し、その種や苗は門外不出とされ受け継がれています。

水前寺成趣園

水前寺成趣園是由第三代藩主细川网利建造的一处庭园，里面设有细川忠利称之为御茶屋的休憩处。丰沛的阿苏地下水从园内池塘中涌出，优美的日式庭园令人赏心悦目。

水前寺成趣園

水前寺成趣園は細川忠利が御茶屋と呼ばれる休憩所を置いたところで、三代目藩主網利によって築造された庭園です。園内の池からは豊富な阿蘇伏流水が湧出し、見事な和風庭園が広がります。

MAP/P26 ①

肥后古流茶道

这是一种传至现代的茶道，与日本茶道宗师“千利休”同出一流。

千利休的第一代弟子、细川家第二代掌门人忠兴以及第三代掌门人忠利将茶道普及到熊本，由当地的茶人们将其技艺很好地保留并传承了下来。

肥後古流茶道

日本の茶道の偉人「千利休」の作法を現代に伝える茶の湯です。

千利休の直弟子である細川家2代目忠興や3代目忠利により熊本に根付き、この地の茶人たちによりその技は大切に守られ伝承されてきました。



本妙寺

天正13年(1585年)、加藤清正为其父清忠建于大阪的寺庙。清正成为肥后领主后，将该寺移至熊本城内，清正去世后又迁筑至现在的地点。正殿净池庙即是加藤清正的陵墓。

本妙寺

天正13年(1585年)、加藤清正が父・清忠のために大阪に建立した寺で、清正が肥後に入国後に熊本城内に移され、清正死去後、現在の位置に移されました。本殿の浄池廟(じょうちびょう)に加藤清正が祀られています。



日蓮宗六条門流 肥後本妙寺 (HP)



熊本县立美术馆 本馆

从古代到现代，包罗万象的综合美术馆。

常设有与细川家相关的美术工艺品。此外还设有装饰古坟室。装饰古坟中的原始美术被认为是日本美术的起点。

熊本県立美術館 (本館)

古代から現代美術までを網羅する総合美術館です。細川家ゆかりの美術工芸品を常設展示している他、装飾古墳の原始美術を日本の美術の原点と捉え装飾古墳室を設けています。



熊本県立美術館 本館 (HP)



水前寺成趣園 (HP)





狮子舞

狮子舞是狮子在笛子和太鼓的伴奏下起舞的一种舞蹈，在日本各地的传统仪式上都会上演。

熊本市中央区新町の狮子舞据传已有400年的历史，是藤崎八幡宫例大祭的一大看点。据说如果被舞蹈中的狮子咬住头部就会消除厄运，每到这时小孩子都会被吓得大哭，看到这场面总会让人露出善意的微笑。



能乐

能乐是具有日本代表性的舞台艺术之一，被指定为国家重要非物质文化遗产。2008年入选为联合国教科文组织非物质文化遗产名录。能乐文化在熊本自古以来颇为兴盛，现在还不断涌现出很多表演者。

能楽

能楽とは日本の代表的な舞台芸術の一つで、国の重要無形文化財に指定され、2008年にはユネスコの無形文化遺産に登録されました。熊本でも古くから盛んで、現在も多くの役者を生み出しています。

獅子舞

獅子舞とは笛と太鼓の音色に合わせて獅子が舞う日本各地にあるお祭りです。熊本市中央区にある新町の獅子舞は400年の歴史を持つと伝わり、藤崎八幡宮例大祭の見所の一つです。獅子舞に頭をかまれると厄払いになると言われており、小さな子供は怖がって泣いてしまうという微笑ましい光景も見ることができます。

MAP/P26 ④

流镝马 (Yabusame)

流镝马是一种在奔驰的马背上射箭的传统技术，也是仪式的名称。

射箭人的飒爽英姿和马儿奔跑的震撼场面，让观众兴奋不已，欢呼声此起彼伏。您可在出水神社春季和秋季举行的大型祭典上观看到这一场景。



やぶさめ

流镝馬

流镝馬とは走る馬の上からの矢を射る伝統的な技術や儀式のことです。その勇ましい姿と馬が走り抜ける迫力に観客たちは興奮し歓声が上がります。出水神社の春と秋に催される大祭でみるすることができます。

MAP/P26 ①

神乐

神乐是日本神道中用来献给神灵的歌曲和舞蹈，为日本流传至今的传统文化。

在熊本全县的各个地区，多达200个地方有神乐的存在。

神楽

神楽とは日本神道において神様に奉納する歌や踊りのことで日本に古来から伝わる文化です。熊本では県全域の様々な地域で200もの神楽が存在しています。



中江岩戸神楽保存会 (FB)

中江岩戸神楽 地点：中江神楽殿
定期公演：4～11月 ※10月除外 毎月第1个曜日

中江岩戸神楽 場所：中江神楽殿
定期公演：4～11月 ※10月除く 毎月第1日曜日

MAP/P25 ⑤



熊本的工艺

熊本县自然资源得天独厚，因此金属、木制、陶瓷器、染色、纸制、竹制、乡土玩具以及其他日式乐器等各种传统工艺遍地开花。

无论是海洋生活，还是山中生活，亦或是举行祭典的日子，工艺品都与人们的各种生活方式紧密相连，在匠人技艺和智慧的千锤百炼下，一步步地走向现代。

以肥后象嵌为首，包括山鹿灯笼、小代烧、天草陶瓷器在内的四种工艺品被国家指定为“传统工艺品”，受到日本国内外的广泛关注。

下面就请领略蕴藏着熊本自豪感与情怀的工艺品的魅力吧。

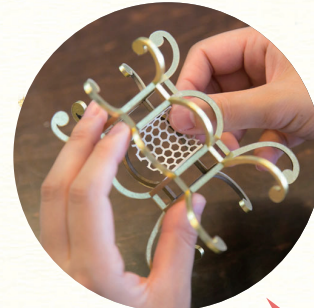
熊本の工芸

自然と素材に恵まれた熊本県では、金工品、木工品、陶磁器、染色品、紙工品、竹工品、郷土玩具、その他和楽器など、さまざまな伝統工芸が各地で生まれました。海のある暮らし、山の中での暮らし、祭りのある暮らし、人々のあらゆる暮らしに密接に結びついて、職人の技や知恵は洗練され、数々の工芸品が現代まで育まれてきました。肥後象嵌をはじめとする山鹿灯笼、小代焼、天草陶磁器の4種の工芸品は、国の指定の『伝統的工芸品』に認定され、国内外から多くの注目を集めています。熊本の誇りと想いが宿った工芸品を是非ご覧ください。



山鹿灯笼

山鹿灯笼とは木や釘を使わず、和紙と糊だけで作られた灯笼のことで、各パーツは中が空洞になっていて、驚くほど軽い作りです。毎年8月に開催される「山鹿灯笼まつり」では、頭に金灯笼を掲げた女性が踊る「千人踊り」で幻想的な光景を見ることができます。



可参观山鹿灯笼制作过程，也可亲身体制作！
山鹿灯笼民芸馆 *需要预约

山鹿灯笼の見学と制作体験もできます！
山鹿灯笼民芸館 ※要予約

(MAP/P25 ⑥)

山鹿灯笼

山鹿灯笼指的是不使用木材和钉子，只用和纸与浆糊制作而成的灯笼。

各个零件都是中空的，非常轻巧，着实让人惊叹。在每年8月份举行的“山鹿灯笼祭”上，头戴金色灯笼的女性共同创造的“千人群舞”充满梦幻色彩，您可一睹其中的风采。



山鹿灯笼民芸館 (HP)





肥后象嵌

肥后象嵌指的是流传到熊本的金属工艺品。其制作历史可追溯到17世纪，据说是从装枪身和刀护手开始的。

其造型之美强烈地体现了武士文化，漆黑的底色上装饰着低调的金银奢华，让人感叹格调的高雅及历史的厚重。

肥後象嵌

肥後象嵌とは熊本に伝わる金工品のことで、その歴史は古く17世紀より作られており、銃身や刀の鐔の装飾を施したことが始まりと言われています。

その造形之美は武士の文化を色濃く反映しており深い黒地に派手さを抑えた金銀の装飾が施され、品格と重厚感を感じさせるものとなっています。

体验制作肥后象嵌首饰！
职人亲自为您指导。
肥后象嵌“光助”
*需要预约



肥後象嵌 光助 (HP)

肥後象嵌アクセサリー作り体験！
職人さんが直接指導してくれます。肥後象嵌「光助」※要予約

MAP/P26



小代烧

小代烧指的是熊本北部烧制的陶器，以朴素而有生命力的风格著称。

具备高度的艺术性，适合装饰菜肴或花朵，更能凸显出被衬托物的魅力，所以作为日常生活中的器皿而深入百姓生活。

しょうだいやき

小代烧

小代焼とは、熊本北部で焼かれている陶器で、素朴で力強い作風が特徴です。高い芸術性を持ち、料理や花を飾っても、素材の良さを引き立てるため、普段使いの器としても親しまれています。



写真提供 天草陶磁振興協議会

天草陶瓷器

天草地区盛产优质的陶石和陶土，自古以来这里盛行烧制陶瓷器。

玲珑剔透般优美的白瓷，件件都彰显个性风格的陶器，种类多样，每个窑厂也风格迥异，给人带来赏心悦目的美之享受。

天草陶磁器

良質な陶石や陶土が産出される天草では、古くから陶磁器が盛んに焼かれてきました。

透き通る様に白く美しい磁器や、その一つ一つに個性的な風合いが浮かび上がる陶器。その多様性と窯元ごとに異なるバラエティ豊かな作風は見る人を楽しませてくれます。



可通过“手捏”或使用“陶轮”体验陶艺。
天草文化交流馆 *需要预约



「手びねり」や「ろくろ」を使った陶芸体験ができます。
天草文化交流館 ※要予約

天草文化交流館 (HP)

MAP/P25